

授業科目	看護統合実習	4 学年・前期・2 単位 (90 時間)	
		看護	必修

科目担当責任者	堀口雅美 (保健医療学研究棟 E309 号) e-mail : hori@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	宇野智子、中村円、飯澤良祐		
概要	本科目では、看護管理、複数患者看護、夜間看護、外来看護の体験を通して、看護職者としての役割・責任を認識するとともに看護・医療の対象となる人々への理解を一層深め、看護職者に求められる実践能力を養う。また、このような実践の場に参画する実習を通して、看護職者としてのアイデンティティの形成につなげる。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 病棟管理者及びパートナーシップ・ナーシング・システムにおける各メンバーの役割・責任の実際を把握し、看護管理に関する役割・責任を説明できる。</li> <li>2. 複数患者を担当する体験を通して、患者の状態や治療計画等を考慮した看護のあり方について説明できる。</li> <li>3. 夜間実習の体験を通して、入院患者の夜間の状態を把握するとともに夜勤帯における看護の実際と看護職者の役割・責任について説明できる。</li> <li>4. 外来実習の体験と保健医療福祉チームにおける看護管理の実際を知り、外来看護の実際と外来看護師の役割・責任、および保健医療福祉チームにおける看護の役割・機能について説明できる。</li> </ol>		
評価	実習評価表(ループリック)に基づいて、実習状況(66%)と提出物・報告会の内容(34%) (計 100%)に関する目標到達度を評価する。実習評価表は開講時に提示する。		
履修上の留意点	実習中は実習専念義務を負うため、原則として遅刻、欠席、早退は認められない。正当事由によりやむを得ない場合は、必ず事前に連絡する。		

内 容 ・ 方 法	
実習方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 2～4名のグループに分かれ、病棟で2週間実習する。看護管理実習2日、複数患者担当実習2日、夜間実習1日、外来看護実習1.5日、病棟オリエンテーション・報告会等3.5日とする。ただし、受け持ち患者および病棟の状況により変更することもある。</li> <li>2. 看護管理実習では、病棟看護師長等に同行し、看護業務を見学する。</li> <li>3. 複数患者担当実習は連続した2日間で実施する。1日目は、学生指導看護師と共に行動し、当該看護師の受け持つ複数患者の看護活動に参画する。2日目は、学生指導看護師が受け持つ患者の中から2名の患者に着眼し、行動プランに基づいて看護活動を実施する。</li> <li>4. 夜間実習は夜勤看護師に同行し、看護業務を見学する。可能な範囲で、夜勤看護師の実施する看護活動に参画する。</li> <li>5. 外来看護実習は内科外来の看護師に同行し、診察室、処置室、化学療法室等で行われている看護業務を見学する。</li> <li>6. 学習状況は毎日、所定の用紙に記録する。</li> <li>7. 実習終了後、実習で学んだことを報告し、まとめを提出する。</li> </ol>
実習期間	2022年8月～9月(予定)
実習場所	札幌医科大学附属病院の15病棟(予定)
実習時間	基本的に8:30～17:00である。夜間実習は13:30～21:30とする。ただし実習病棟や学習状況により変更する場合がある。

実習内容	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 病棟看護師長の業務見学を通して看護管理の実際と看護師長の役割・責任を知る。</li><li>2. パートナーシップ・ナーシング・システムによる業務見学を通して各メンバーの役割・責任を知る。</li><li>3. 学生指導看護師の受け持つ複数患者の看護に参画する。患者情報、診療情報、看護情報等の情報収集に基づいて、患者2名に対する援助の優先性を考慮した行動プランを準備し、担当患者に関わる看護活動を体験する。</li><li>4. 夜間の入院患者の状態及び病院・病棟環境を把握し、夜勤看護師の業務見学を通して夜間帯の看護の実際と看護職者の役割・責任を知る。</li><li>5. 外来看護師の業務見学を通して外来における看護活動の実際と外来看護師の役割・責任を知る。</li><li>6. 報告会を通して実習における体験や気づきを共有し、看護に対する洞察を深める。</li></ol>
------	---